

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第380号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2018年10月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

東海大学適性審査による合格者25名

ダンス部 USA大会 優勝!

軽音楽部 全国大会出場

TOP*NEWS

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト 出場決定

吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクール 出場決定

学園オリンピック(スポーツ大会)

バドミントン部 男子団体優勝 卓球部 男子団体準優勝



適性審査による特別奨励推薦候補者の皆さん



学園オリンピック夏季セミナー入賞者の皆さん



学園オリンピック(スポーツ大会)
バドミントン部 男子団体優勝!



学園オリンピック(スポーツ大会)
卓球部 男子団体準優勝!

希望を星につなげ!

2018年度 東海大学学園オリンピック

文化部門

日時：7月31日(火)～8月5日(日) 場所：東海大学孺恋高原研修センター

※芸術【音楽】部門 日時：5月11日(金)～5月13日(日) 場所：湘南キャンパス 松前記念館

部門別 受賞者

理科部門 (第25回)	優秀賞 石川 伸之介 2年10組 奨励賞 関口 菜央 2年10組 努力賞 深川 真規 1年10組	芸術【音楽】部門 (第27回)	銅賞 小川 玲 2年 A組
英語部門 (第27回)	優秀賞 伊原 佐都 1年 5組 努力賞 木村 飛洋 2年10組	知的財産部門 (第15回)	努力賞 庄司 馨 3年 1組
芸術【造形】部門 (第27回)	努力賞 平賀 雄也 3年 A組	ディベート部門 (第13回)	奨励賞 宮林 智加 1年10組 努力賞 望月 理沙 2年 1組

☆優秀賞☆を受賞した皆さんの喜びの声を紹介します

夏休みの素晴らしい使い道

理科部門

2年10組 石川 伸之介

僕は思う。この学園オリンピックという行事は、中高生が夏休みを最も有効活用する方法である。

その理由は明確だ。楽しみながら勉強ができる上に、日本中に友達ができる。こんなに素晴らしい使い道は他にないだろう。この学園オリンピックというものは、全国の付属校から生徒たちが集い、大学の教授に授業をしていただく行事だ。僕が参加した理科部門では、山の上での天体観測や生態調査、さまざまな温泉の分析など、学校ではめったにできない実験を体験できる。理科好きにとってこれはとても貴重な経験で、今後の実験などに生かすこともできる。

僕はこの行事に3回も参加させていただいた上に、今回はなんと優秀賞までいただくことができた。僕にとってこんなに幸せなことはない。そして僕は、来年の夏休みも有効活用できるように今のうちから準備をしていこうと思う。

平成最後の夏は学オリ

英語部門

1年5組 伊原 佐都

高校に入学して、初めての夏休みは憂うつな始まりだった。同じ学校の系列校で行われる学園オリンピックは、1週間。どんな人が参加するのか、何が行われるのかと不安ばかりの中出発した初日。到着して英語部門のメンバーで集まると、皆同じ思いの様子が見てとれた。話しているうちに、学年の隔たりもなくすぐに打ち解けられ、女子全員が仲良くなった。仲の良い仲間だと、過ごしている時間は楽しく短い。自由時間などはほとんどないに等しかったが、気の合うメンバーと過ごした時間は、有意義だった。積極的に意見交換できたのも、英語劇の撮影が順調に進んだのも、こういった環境がなせる技であったと実感している。この経験で培ったコミュニケーション能力をこれからも役立てていきたい。

2018年度 東海大学学園オリンピック

スポーツ大会

種目	順位	氏名	種目	順位	氏名
バドミントン 男子団体	優勝		柔道 女子個人(48kg級)	優勝	2年 吉野 優渚
バドミントン 女子団体	3位		柔道 女子個人(52kg級)	2位	2年 高橋 悠歩
卓球 男子団体	2位		柔道 女子個人(57-63kg級)	優勝	2年 佐藤 七海
卓球 男子個人	2位	3年 齋藤 響	柔道 女子個人(63-69kg級)	3位	1年 木戸 夕葵
卓球 男子個人	3位	3年 手崎 竜希	柔道 女子個人(70-78kg級)	優勝	2年 山口 舞緒

二度目の優勝

バドミントン部

3年5組 永野 秀太(元部長)

私が1年生の時に、先輩方が挑んだ学園オリンピックで初優勝したことが強く印象に残っており、部長として挑む今回も優勝を目標に挑みました。参加校数最多となる今回の大会でしたが、後輩に助けをもらい、高校生最後の団体戦で優勝することができて嬉しかったです。私たちはこれで引退となりますが、3年間、文武両道に励むことができたのは顧問の先生や先輩方、仲間や後輩、家族など多くの方々を支えられてきたからこそだと思います。自分にとってバドミントン部で過ごした時間とその仲間はかけがえのないものであり、この先もずっと大事にしたいです。今の後輩たちなら協力し合い、より良い、より強いチームを作れると思うので、頑張ってもらいたいです。

2018年度 夏休み部・同好会結果

陸上競技部

東京都私学大会 男子1500mの部 秋田陸 第1位

女子バスケットボール部

東京都高等学校女子バスケットボール夏季大会 Hブロック 優勝

ソフトテニス部

東京都私立高等学校学校対抗戦(女子団体) 5部 第3位

卓球部

港区卓球新人優勝大会 Jr男子の部 馬場好基 第1位

バドミントン部

学園オリンピック 男子団体 第1位

剣道部

全国高等学校剣道大会(インターハイ) 白澤智也 2回戦敗退

テニス部

東京都ジュニアチームチャンピオンシップ 男子A ブロック優勝

野球部

全国高等学校野球選手権記念大会東京大会 ベスト16

ゴルフ部

東京都中学校高等学校ゴルフ選手権大会 女子個人の部 宮武光 優勝

ダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会 審査員特別賞

吹奏楽部

全日本マーチングコンテスト東京都大会 金賞 全国大会出場決定
東京都高等学校吹奏楽コンクール A組 金賞 全国大会出場決定
B組、C組 金賞・最優秀賞

軽音楽部

全国高等学校軽音楽コンテスト “ボンゴレベイベー揺れる” 優秀賞

ソフトテニス部(中等部)

東京都中学校ソフトテニス選手権大会 女子団体・女子個人(節政・栗田ペア)出場

剣道部(中等部)

東京都中学校剣道選手権大会 男子個人の部 緒方大泰、赤間拓未 出場

吹奏楽部(中等部)

東京都中学校吹奏楽コンクール東日本部門 金賞(4年連続)

USA School&College Competition 2018 EAST 優勝!

ダンス部



感謝

2年4組 皆川 真瑠香

ダンス部2年生は、夏のUSA大会で優勝という結果を残すことができました。1年生の時は2チームに分かれ大会に出場したため、2年生全員で大会に出場させていただけたのは今回が初めてでした。そのため不安もたくさんありましたが、皆が同じ方向を向けるように何度も話し合い、練習も全力で取り組んでいきました。練習中にはいろいろなことがあったけれど、全員で優勝という目標を忘れずに協力していきました。今回の優勝という結果は2年生の力だけではなく、周りでも応援してくださった先生方、コーチの方々、先輩・後輩方、そして何より近くで見守ってくださった保護者の方々のおかげだと思っています。これは今回の大会を通し、改めて強く感じました。皆さんの応援は私たち2年生の大きな力になりました。本当にありがとうございました。これからも全力で頑張っていくので、ダンス部への応援をよろしくお願いいたします。

全国高等学校軽音楽コンテスト出場

軽音楽部

貴重な経験

3年8組 木我 雛子

このたび、我々“ボンゴレベイベー揺れる”は、東京都高等学校軽音楽連盟主催の夏の大会において、準グランプリをとり、全国大会に出場しました。やはりどのバンドも大変レベルの高い演奏で、残念ながらグランプリをいただくことはできませんでした。悔しい結果になってしまいましたが、同時に大変貴重な経験になりました。日頃、教室を練習場所としてお貸し下さっているクラスの方々や先生、保護者の皆様などたくさんのご協力があったおかげです。本当にありがとうございました。私たち3年生は、建学祭で引退となります。短い期間ではありますが、後輩たちにさらに多くのものを残していけるよう、頑張っていきますので、よろしくお願いします。建学祭は、10月13日と14日、軽音楽部は両日アリーナにて発表します。皆さんと一緒に素晴らしいライブにしたいと思っています。ぜひお越しください!



“ボンゴレベイベー揺れる”のメンバー：左から木我雛子さん、浜村麻裕さん、嶺脇瑠音さん

中等部3年生 梶浦 勇輝君 U-15サッカー日本代表に選出される!



中等部3年B組 梶浦 勇輝

今回、U-15日本代表に選出していただき、大変光栄です。

僕は7月20日から29日まで中国で行われた「EAFF U15ボーイズトーナメント2018」に出場しました。この大会で中国や韓国などのアジアの国々に対戦しました。そこでは日本国内のクラブチームでは体験できないような海外選手のプレースピードや、体の強さなどを感じることができました。この年齢で日本を代表するというはとて貴重な経験で、自分が代表としてプレーできるなどということはこれまで考えたこともありませんでした。不安も

あったなか、しっかりプレーすることができてよかったです。しかし、このU-15に選ばれても数年後のA代表に選ばれなくては意味がないと思います。ずっと日本代表に選ばれ続けるといことはとて難しく容易なことではありません。ここで満足することなく、これからも努力をして、レベルアップをしていきたいと思っています。

「2019年度 東海大学付属推薦入試適性審査」の結果、 25名が新たに推薦候補者に決定

東海大学の付属推薦入試について、6月16日(土)に教養学部芸術学科、6月23日(土)に医学部医学科と看護学科、さらに7月29日(日)および8月25日(土)に工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻の適性審査がそれぞれ実施され、25名の生徒が合格し、推薦候補者に決定しました。それぞれの生徒は、1、2年生のうちからしっかりと適性審査に向けて準備をして、厳しい面接試験や実技試験を突破して合格を勝ち取りました。おめでとうございます。

現在、高校1、2年生で適性審査のある学部・学科を希望する皆さんは、早期からの準備を心掛けてください。

東海大学適性審査合格者

進学予定先	学科別人数(名)
工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻	2
医学部医学科	6
医学部看護学科	5

進学予定先	学科別人数(名)
教養学部 芸術学科 音楽学課程	2
教養学部 芸術学科 美術学課程	2
教養学部 芸術学科 デザイン学課程	1
医療技術短期大学 看護学科	7

東海大学適性審査による合格者氏名(五十音順) *の付いた生徒は特別奨励候補者

秋山 萌 飯塚 健 石村 玲奈* 市村源汰朗 岩永 桃佳* 及川 咲希* 萱場 隆生
 岸本 結衣 楠 莉々香 小泉 龍平* 河野 鷹通* 小西 悠貴* 坂口 芽依* 坂口 由依
 笹山ゆうこ* 島 優香里 住谷 祥花* 宝田 拓紀* 中村 結衣* 平林 恵美* 真崎 大哉*
 峰岸 紗希* 峰岸 真希* 三村 惟流* 山森 千聖

2018年度学校運営方針

「2018年度学校運営方針」実践目標を今月も紹介します。学校の取り組みなど本校HPでも紹介していますのでご覧ください。

2018年度の「実践目標」

情報化時代に即応し、自らが情報発信基地になれるよう、 教職員・生徒の情報教育の推進を図る

電子黒板・タブレットのICT機器を使用した授業をさらに充実させるために、2019年度新入生より各自で端末を用意する「BYOD」方式となります。新しい授業が展開できるよう教員も勉強中です。

あらゆる行事を通して、豊かな情操を培い、素晴らしい 人間関係をつくりあげる

学生時にしか体験できないことが学校行事です。副健旅行や建学祭など、「楽しい」から「つらい」ことまでさまざまな経験を通して、人として必要な力を身につけてほしいと考えています。



〈副健旅行〉



〈学園オリンピック理科部門〉

資源環境保護・社会環境の美化を心がける精神を 身につけ、その実現に向けての行動力を育てる

社会福祉活動や社会奉仕活動へ積極的に参加できるようにする

生徒会委員会を中心に、地域でさまざまな奉仕活動を行っています。福祉委員会は毎週月曜日の放課後に地域清掃活動、またいくつかの部活動も学校周辺の清掃活動を行っています。生活委員会は登下校時に挨拶運動や通学マナーの呼びかけ、福祉委員会のベルマーク回収運動、建学祭バザー収益金より私学ボランティア基金へ寄付などを通して、奉仕の精神が育まれればと思っています。また、2年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東海大学はスポーツボランティアを募集し、準備を始めています。奉仕活動のチャンスはいくらでもあります。そういう場で活躍できる生徒が増えていくことを願っています。



〈交通安全運動〉

東海カルチャーセミナー 2004年アテネオリンピック 柔道女子78kg超級金メダリスト 東海大学柔道部女子監督 塚田 真希先生

東海カルチャーセミナーに参加して 後援会総務部部长 手崎 千里



9月1日に第13回東海カルチャーセミナーが開催され、多くの生徒、保護者、地域の方々にご出席いただきました。第1部は「全日本マーチングコンテスト東京都大会」において見事金賞を受賞し、全国大会への出場が決定した吹奏楽部の演奏が行われ、会場一体となって盛り上がりました。第2部は東海大学柔道部女子監督で2004年アテネオリンピック柔道女子78kg超級金メダリストの塚田真希先生に「金メダルをもたらした魔法の言葉」というタイトルでご講演いただきました。ご自身の経験に基づいたお話は興味深いものばかりでしたが、なかでも低迷期を脱出されるきっかけとなった「自分に克つ」という言葉は、今後の私自身の人生の指針になるものとして受けとめました。講演後の質疑応答の時間でも多くの質問が上がり、大盛況のうちに終わることができました。

努力と才能

女子柔道部 1年6組 前田 有澄

「世界で活躍する選手はもともと才能があった」と私は考えていました。才能がなければどれだけ努力しても限界があり、才能のある人にはかなわないと思い込んでいました。しかし、今回塚田先生の講演を聴き、才能が全てではないということを知りました。塚田先生のような世界大会で何度も優勝していた選手は、小さい頃から柔道を始めていて、学生時代から活躍し続けていると思っていました。しかし、柔道を始めたのは中学生の時、当時はあまり強い選手ではなかったそうです。そこから高校、大学と努力を重ね、挫折を乗り越えて練習を続けたからこそ、大会での素晴らしい結果があるのだと学びました。「自分には才能がない」とあきらめずに努力を続けることが、目標を達成するためには大切だと知ることができました。

❖ アブダビ日本人学校より小学6年生2名が訪問しました ❖

8月30日(木)、UAEのアブダビ日本人学校から小学6年生のアフメド君とヘッサさんの2名が、保護者と一緒本校を訪問しました。校長室での本校の学校紹介の場面では、二人ともはっきりとした日本語でたくさん質問してくれました。その後、物理化学部の活動を見学しました。本校生徒の研究内容についての説明に熱心に耳を傾けていました。約2時間半という短い時間でしたが本校に大いに興味を持っていただき、とても有意義な時間を過ごしていただくことができました。現在、高校1年生にアブダビ日本人学校から2名の生徒が入学しています。アフメド君とヘッサさんも4年後、また会える日を楽しみにしています。



中高生の理科体験授業

8月6日から2泊3日で、中高生の理科体験授業が行われました。学園の付属中高生を対象に行われ、本校から3名が参加しました。大学の研究室や施設の見学、実践や発表を通して理科の楽しさに触れてきました。

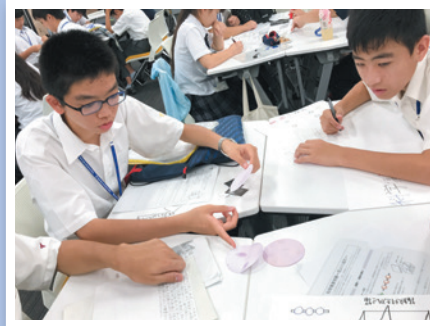
理科体験授業を受けて

2年10組 小澤 幸太

僕は8月6日から8日の2泊3日で理科体験授業に参加しました。5つのテーマの中から、僕は「科学捜査～犯人に迫れ～」という実験を選びました。いろんな化学変化を利用して、指紋や血痕を検出するという実験です。ドラマで見ていた場面と同じようなことを実際に自分がやっていると思うと、本当にワクワクしました。最終日には、大勢の生徒や大学の先生方の前で発表しましたが、SSHの授業でプレゼンテーションを学んでいたのがあまり緊張せずに発表ができました。

また、他の付属校の人たちとも交流ができました。楽しく過ごし、この数日でとても親しくなれたことも良い思い出の一つです。

理科が好きなのは、ぜひ来年参加をしてみてください。そうでない人も参加することによって、理科が好きになれるきっかけになると思います。東海大学の付属校だからできる、貴重な体験だと実感できます!



SSH活動報告

全国研究発表会で奨励賞を受賞!!

全国のSSH指定校が一堂に会するスーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会(8月8日～9日/神戸市)において、3年生の高橋君と平林君の共同研究が奨励賞(7校)に選ばれました。同発表会での表彰は本校SSH活動において初の快挙です。

終端速度と力積からみたアリの落下耐性

研究の概要

アリはどんな高さから落下しても絶命しないことがよく知られている。私たちはクロオオアリの質量や体積を計測したうえで自由落下させ、その様子をハイスピードカメラで撮影することで着地時のアリにかかる力積を求めた。

3年10組 平林 佑規



発表会には海外の学校も合わせて約250校の高校生が参加していました。そのためいろいろな分野の研究を見ることができ、とても貴重な時間を体験することができました。1日目は朝から夕方まで発表を行い、いろいろな方に発表をしたり、いろいろな発表を聞いたりしました。2日目は前日の審査で選出された高校が全体の前で発表を行い、その後表彰が行われました。

今回2日間で多くの方の前で研究の発表をさせてもらいました。そこで私たちの研究には比較実験がないことや研究の内容に弾性力の内容を取り入れてみたらなど、多くのご指摘、質問をいただきました。そしてそれに加えてとても面白い研究内容だと言ってくれる方もいました。このようにたくさんの方と関わった発表会は初めてで、たくさん学ぶものがあり、とても良い発表会になったと思います。

1年SSHクラスで科学体験学習旅行を実施/3年SSHクラス代表生徒が指定校主催の発表会に参加

科学体験学習旅行(7月23日～25日/岐阜県土岐市ほか)

1年10組 鈴木 亜蓮



今回の旅行を通して、理科全体を学ぶことができました。最後の日に行った浜松ホトニクスなど、とても内容が難しくよくわからなかったけれども、今まで学校で学んできたことが発展して素晴らしい技術として社会で使われているということを実際に見て知ることができました。

私が一番楽しみにしていたのは、初日の夜に行く海洋科学博物館でした。なぜなら、小学生の頃から水生生物をたくさん飼育しているのでもって興味があったからです。自然のままの環境を作ることは難しいため、初めて夜の水生生物を自然な姿で観察することができました。特に心に残った生物はマツカサウオというマツカサのような形をした魚です。下顎に発光器があるのですが、なぜ、そしてどのように発光バクテリアを取り入れているか、またはっきりとはわかっていません。生物のことはまだよくわかっていないと思うので、これからは自分が飼育しているペットたちを観察し、なぜそのような行動をとるのかを自分なりに考えてみたいですね。

21世紀の中高生による国際科学技術フォーラム(8月9日～12日/静岡市ほか)

3年10組 石村 玲奈

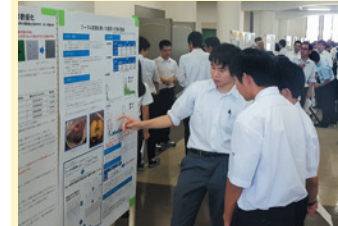


私は今回、静岡で開催された「SKYSEF」という発表会に参加してきました。日本から以外に海外からの参加者もいたので、開催中の会話はすべて英語で行われました。特に英語を必要としたのが2日目と4日目に行われた国際共同研究です。数人のグループに分けられ、与えられた課題を協力して解決し、ポスターにまとめるというものでした。お互いの意見を伝えるために英語が必要不可欠でした。私の班の班員は科学やポスター作りにとっても長けていたので、一人では思いつかないレイアウトを考えてくれて、今後の参考になりました。

3日目に行われた研究発表では、口頭発表とポスター発表を行いました。いくつか予想される質問には備えておりましたが、予想外のものが来てしまい、うまく答えることができず悔しい思いをしました。今回痛感したことは英語力の低さです。感じた悔しさを忘れず、英語力を向上させたいと思いました。

マスフェスタ 全国数学生徒研究発表会(8月25日/兵庫県西宮市)

3年10組 南木 勇輝



私は数学を利用して打音で糖度を評価する実験を行いました。数学の実験を行っている人はSSH指定校全体の中でも数少ないなか、今回、関西学院大学に数学を主題とした研究が約50テーマも集まるというのはとても貴重な体験でした。正直、他の人の発表を聞いて、それを理解するだけでいっぱいいなこともありました。お互い数学を実験テーマにしているもの同士、なぜこの分野にしたのか、実験中の苦労話など、研究したからこそわかる、現場ならではの声を交換し合えたことが、今後の自分の人生の幅を広げたと考えています。

準備段階でポスターを何回も作り直し、良いものができたと思っていても、実際に発表をしてきたことで、まだまだ改善が必要な部分が見つかり、ポスターや発表に終わりはないのだと再認識しました。残り少ないSSH活動、発表活動でさらなる洗練されたポスター、発表にしていきたいです。

SSH活動速報

9月 3日 科学文明論Ⅱ

芸術(音楽)班による音楽の利活用に関するプレゼンテーション
連携先: サウンドヒーリング協会、東海大学教養学部芸術学科音楽学課程、奈良文化センター 音楽教室、(研)国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、(株)Qosmo

9月 3日 アカデミックプレゼンテーションⅡ

課題研究に関する英語プレゼンテーション準備の開始(全9回)

9月 5日～ 探究活動Ⅰ

探究テーマ設定の開始(全2回)

9月 7日 科学文明論Ⅱ

芸術(音楽)科教員による音楽の利活用に関するワークショップ

学年だより 中1

剛健旅行

夏休み前に行われた剛健旅行。生徒たちは19kmの歩行をどのようにとらえ、今後に生かしていこうとしているでしょう。感性豊かにつづられた、生徒たちの剛健旅行の感想をご覧ください。

仲間との協力

A組 須藤 礼名

夏の太陽がキラキラ輝く7月。私たちの19kmの旅が始まりました。

今回、初めての剛健旅行で、私は多くのことを学びました。中でも一番大切だと思ったことは、仲間と協力することの素晴らしさです。この日は、夏でも涼しい嬌恋村としては異常なほどの暑さでした。私は歩き始めて早々に「暑い、暑い」と連呼してしまいました。そんな時、一緒に歩いていた友達は、「そうだね、暑いよね」と共感してくれました。私はその言葉に、みんな暑いんだ、私だけじゃない、と思い、みんなと一緒に頑張ろうと思いました。そのあと、何時間か歩いて半分を越えたあたりで足が限界になってきて、言い知れぬ痛みが足を襲いました。本当に足が痛くて、つらくて、止まってしまうかと思い、「足が痛い」というと「私もだよ」と友達が声をかけてくれ、くじけそうだった心がだんだんと前向きになっていくのを感じました。つらいのは私だけじゃない、私を助めてくれた友達のためにも最後まで歩き抜こうと思いました。そしてその後も歩き続けた結果、私たちは無事ゴールできました。疲れたけど、良い思い出ができてよかったです。

私はその後、どうして剛健旅行をやるのか、自分なりの答えを出してみようと思えました。そこで私は、今日一日一緒に歩いてくれた友達がいたからこそここまでこられたんだと思い出し、剛健旅行は仲間と協力することの大切さを伝えるためにあるのではないだろうかという考えが浮かんだのです。それは、きっと今日私が一人で歩いていたら完歩できなかったと思ったからです。

これからも、この剛健旅行で学んだことを忘れずに、学校生活を送っていききたいと思います。

人の大切さ

B組 中西 力也
(中等部男子1位)

僕がこの剛健旅行でわかったことは、「人の大切さ」です。まず僕はスタートするとともに友達を見失い、先に行ってしまったのだと走ったら、周りに誰もいなくなり寂しかったです。民家のある辺りで先輩と会い、一緒に走ってもらいました。初対面だったので自己紹介などしながら走りました。もっとも大変だった場所は、ぐるぐるの坂で、一人だったら切り切れなかったと思います。先輩がいたからこそ最後まで行けたのだと思っています。

ゴールした後、保護者の方々が作ってくださった豚汁で回復し、とても楽しかったです。そしてこの剛健は体力づくりと友情を築くために行われるのだと思います。仲間がいるからこそ乗り越えられ、走り切れるのだと思います。来年も1位をとれるように体力づくりをしていきたいです。

初めての経験

B組 向 優吾

僕は今年、人生で初めての経験をしました。それは19kmを歩く剛健旅行です。僕の今年の目標は、「ペースを落とさず、立ち止まらなくてゴールまで進み続ける」でした。なぜなら途中で物事をあきらめずに貫いてみたいと思ったからです。僕が一番大変だったところは、約17kmの長い上り坂がずっと続いていたところでした。でも友達といたので、そこを乗り越えることができました。その地点は、一番大変でもあり、一番やりがいを感じた場所でした。

僕は初めての剛健旅行で最初はゴールできるか不安だったけれど、友達がいたからゴールできました。友情は大事だなどと思いました。ゴールした後の豚汁は最高でした。

体育祭

6月22日にさいたまグラウンドにて、中等部の体育祭が行われました。事前に応援や種目の練習を重ね、その成果を発揮することができました。



学年だより 中2

English Summer Camp

中等部2学年は、毎年夏休み、河口湖の足和田ホテルにて、英語を学習する合宿「English Summer Camp」に参加します。今年度は8月9日～8月11日に行ってきました。

自分の好きなものについて発表する「My Story」、班で劇を作る「Camp Skit」、みんなで踊る「Dance Party」、体にペイント、バルーンアートなどを行う「American Carnival」、歌を歌い、おいしい焼きマシュマロを食べた「Campfire」などいろいろなことを体験し、外国の文化に触れ、とても充実した行事となりました。

(※生徒本文中のACとはアメリカンカウンセラーの略称で、生徒のサポートをしてくださったネイティブの方々です。)

英語の楽しさを知ったキャンプ

A組 添田 太洋

僕は外国の人たちと寝泊りするのこれが初めてだったので、行く前は家でドキドキしていました。宿泊施設に着いてバスから降りると、思っていたより高いテンションで、朝の緊張がかなりほぐれました。いろいろな活動を通してACの方はもちろん、班の人たちとも楽しむことができました。特にダンスパーティとアメリカンカーニバルが楽しかったです。楽しむ以外にも英語で自分の好むものの物語を作ったり、班の人たちと劇を作って発表したりしました。劇で表彰されたのが嬉しかったです。

Smile!

B組 金子 鈴佳

ACの方はテンションが高いと聞いていたので、テンションについていけるか不安でした。ホテルに到着すると、ACの方の元気の良いお迎えに「ハロー」と返しながらかわいそうな笑顔を作りました。私には大好きなキャラクターがいるので、マイストーリーではその子になりきって、笑顔を意識して発表しました。ACの方と積極的に話したり、ダンスパーティでACの方と踊ったりしたからか「スマイル賞」をもらいました。やはり笑顔は世界共通のコミュニケーションだと感じました。

貴重だった時間

A組 二見 桜生

僕はもともと英語がそんなに得意じゃなかったのですが、ACの方は優しく、伝わらなくても上手く接してくれ、とても楽しい3日間でした。3日間ですが、とても勉強になり、ますます英語への好奇心も沸きました。ACの方と趣味などの話をしていたら、英語を楽しんでいる人に贈られる、スマイル賞をとることができました。このキャンプに参加しているいろいろな人と話せたらいいと思うので、これからは英語をもっと頑張って勉強したいと思いました。

アメリカ流のテンション

B組 高橋 凌

バスに乗っていた僕たちをACの方が歓迎してくれました。外国人のテンションについていけるか不安でした。ですがキャンプファイヤーのときにはリズムに合わせて体が動き出しました。ダンスパーティでもみんなノリノリで、僕も一緒に踊っていました。最終日にいろいろなコンテストをしました。その中のスピーチコンテストで僕は1位になることができました。とても嬉しかったです。ACの方たちは、とてもいい人たちに教えるのも上手く、楽しませるのも上手かったので、3日間楽しむことができました。



スマイル賞受賞!!



英語で劇をしました



英語でコミュニケーション



みんなに修了証書

学年だより 中3

夏休みが終わり、多くの3年生が部・同好会活動を引退しました。現在、建学祭や引退に向けて頑張っている生徒や、引退しても後輩指導のために部活動に参加している生徒、高校の部活動に参加している生徒がいます。今回はいくつかの中等部の部活動の活動報告をしてもらいました。

★吹奏楽部 東日本コンクール金賞!



やり切った東日本コンクール!

吹奏楽部部長 A組 井上 奈菜

私たち中等部吹奏楽部は、東日本コンクールで金賞を受賞することができました。今年の曲は去年と同じ、私たち高輪台中等部のために作られた曲です。この曲は私たち吹奏楽部のイメージにぴったりで、少ない人数で不安でしたが、やり切ることができました。

今回金賞を受賞したときの点数は平均88点で、これまでの高輪台中等部史上最高点だと聞いてびっくりしました。

コンクールでは4年間連続金賞を取っているため、これからも先輩たちが残した思いを次の後輩たちに受け継がれるようにしていきたいと思っています。次は定期演奏会が控えています。3年生にとって、1・2年生と一緒に吹く最後の演奏なので頑張りたいです。

★剣道部 緒方君、赤間君 都大会出場

中学最後の都大会

A組 赤間 拓未

中1のときに団体で都大会に出場しましたが、結果は一回戦敗退でした。そのため、今年の都大会予選は個人でも団体でも都大会に出場するぞという強い気持ちで挑みました。その都大会予選では、個人で僕と緒方君の都大会出場が決まっている状況で団体戦が始まりました。皆、力を尽くしましたが代表戦で負けてしまい、皆の念願だった団体での都大会出場はかないませんでした。

個人で出場した都大会では、応援してくれるみんなの分まで全力で試合に臨みました。結果は一回戦敗退でしたが、今の自分の力をすべて出せたのでよかったです。高校ではさらに上を目指せるように頑張りたいです。



賞状を持っているのが緒方君、右から二番目が赤間君

悔しかった都大会

B組 緒方 大泰

私は、7月26日に東京武道館で行われた都大会に出場しました。結果は残念なことに一回戦敗退で、中等部剣道部の仲間と約束した関東大会出場の目標を達成できず、とても悔しかったです。私の練習に付き合ってくれた顧問の加藤先生には恩返しができずに申し訳ありませんでした。それでも、都大会に出場することができたことはとても嬉しかったし、顧問の種田先生のとてもしんどい稽古があったから、都大会に出場できたのだと思っています。高校では関東大会出場という目標を達成し、お世話になっている先生方や応援してくれる仲間へ恩返しできるように、さらに練習を頑張ります。

★ソフトテニス部 女子団体:都大会出場 節政杏里紗・栗田優紀ペア:都大会出場

●私はソフトテニス部に入り、たくさん成長することができました。私たちより何倍も強い相手と戦うことになり、つらいことも何度もあったけれど、自分の中で一番の力を出せたので、悔いなく試合ができました。(3A 大塚 藍)

●都大会ではいい結果が出せませんでした。けれど今まで頑張ってきたことを出し切れたと思うのでよかったです。ここまでこられたのは部活動の顧問の先生や仲間のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに次に進みたいです。(3A 萱場 いずみ)

●個人準優勝、団体優勝という予選大会の結果で、都大会に臨みました。負けたくないという思いから緊張しましたが、2試合とも2年半の成果を出し切ることができました。初戦敗退となりましたが、悔いなくやれて嬉しかったです!(3A 節政 杏里紗)

●引退のかかった区大会で団体戦は優勝することができ、都大会へ出場することができました。都大会の団体戦ではいろいろなことを学ぶことができました。この都大会で引退となりましたが、良い思い出になりました。(3A 飛田 桃)

●私の目標は港区の代表になり、都大会に出場することでした。その目標が達成できたのは、とても嬉しかったです。しかし、都大会では思った通りにはいかず、初戦敗退となりました。それでも貴重な体験ができてよかったです。(3B 栗田 優紀)

●私にとって都大会は大きな目標でした。それを最後の試合で仲間たちとやり遂げられたのはとても良い経験になりました。このことを高校に行っても忘れずに部活面や勉強面に生かして、頑張っていきたいです。(3B 野上 真央)



学年だより 高1

剛健旅行

7月18日～19日に剛健旅行が行われました。高校生として初めての強歩大会で、高校1年生で上位入賞を果たした4名の生徒の感想をお届けします。

男子総合7位(高1男子1位)

9組 及川 優汰

つらかったと同時に達成感を感じた剛健旅行でした。36kmという距離は、人生で一度も経験したことのない距離でした。途中長い上り坂で何度か心が折れそうになりましたが、私は学年トップでゴールすることができました。この成績でゴールできたのは、先輩方が一緒に走ってくれたり、アドバイスをくれたりしたのが大きかったと思います。来年も上位入賞を目指し頑張りたいです。

女子総合1位(高1女子1位)

1組 中山 千夏

私は初めて剛健旅行に参加して、今まで味わったことがないほどの達成感を感じることができたと思います。最初からスピードを出し最後まで走り切れることはとてもつらく、何度も心が折れかけました。そんな時、一緒に走っていた仲間が何度も手を引っ張ってくれました。この体験の中で、つらいとき、仲間の言葉がどれほど支えになるかを学びました。つらい体験の中にも大切なものを学ばせてくれた剛健旅行は、私の中でとても価値ある経験でした。

男子総合8位(高1男子2位)

2組 守屋 浩次

私にとって初めての剛健旅行で、行く前から、最後まで走り切れるだろうか、途中でリタイアしてしまわないだろうかと不安でいっぱいでした。36kmという距離を走ったこともなかったので、心配しながら当日を迎えましたが、しっかりと走りゴールにたどり着くことができました。ゴール後には達成感を感じることができました。

女子総合1位(高1女子1位)

4組 清宮 優希

30kmという長い距離を歩くのは初めての経験でした。初めての剛健旅行で走り切れるかという不安が8割、学年1位になりたいという気持ちが2割でした。たくさんの上り坂と下り坂に苦戦しました。2つ目のチェックポイントを通過からの残り7kmがとても長く感じられました。途中であきらめそうになったとき、一緒に走った先輩方に声をかけてもらい、頑張ろうと思いました。来年は私が引っ張れるように頑張りたいです。



学年だより 高2

研修旅行 ②

今月号では、北海道コースと沖縄コースの研修旅行の感想をお届けします。その土地に根付いてきた郷土料理に舌鼓を打ったり、普段はできないアクティビティの体験や歴史を伝える建造物を見学し、心の引き出しをさらに大きくして帰ってきました。楽しかった思い出を一緒にご賞味ください。

※このたび発生した北海道地方における地震により、被災された皆様とご家族、関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。皆様が一刻も早く平穏な生活を取り戻され、復興がなされることをお祈り申し上げます。

北海道コース

9組 近藤 樹



私たち2年生の約80人は北海道へ行きました。私のイメージでは北海道は一年中涼しく食べ物おいしいところだと思っていました。私が思っていたことは、その通りでした。研修旅行へ行った6月の下旬でも涼しくて過ごしやすく、そして食べ物もとてもおいしかったです。特に、北海道の郷土料理である「鮭のちゃんちゃん焼き」は何度も食べましたが、飽きることはなく、私の想像を超えるほどおいしかったことが忘れられません。他にも、カニやラーメン、いも餅なども食べましたが、全部がとてもおいしかったです。



北海道の自然に触れたのもとてもいい経験になりました。カヌーは二人一組で息を合わせて漕ぎました。しかし、なかなかまっすぐ進まずに他の人のカヌーにぶつかって水がかかったり、かなり苦戦しました。最後まで右に左にフラフラしていましたが、普段はできない体験ができてとても楽しかったです。また、乗馬や牛の搾乳など5つのアクティビティの中から私はフィッシングを体験しました。森の中のフィッシング体験でしたが、虫がたくさんいて、最初はとても嫌でした。しかし、だんだん慣れてくると自然の中で経験する釣りが楽しく感じました。他のアクティビティも全部自然に触れることができ、北海道ならではの楽しみがあるので、後輩の皆さんもぜひやってみてほしいと思います。

北海道コースは4種類の中で一番人数の少ないコースでした。しかし、引率の今井先生・細田先生・小野先生にも助けてもらい、この6日間を充実したものにできました。先生方は私にフレンドリーに話しかけてくださり、そして、いつも優しく私たちを見守ってくださいました。そのおかげで、研修旅行中に大きな問題もなく、みんなが日程を楽しめたのだと思います。だから、先生方にはとても感謝しています。そして、一緒に北海道に行ったみんなも、頼りない私に仲良く話しかけてくれて本当にありがとうございました。みんなと過ごした6日間は私の宝物です。これからの高校生活でも大事な仲間として仲良くしていきたいです。

沖縄コース

5組 大森 千歳

私が沖縄の研修旅行に行って感じたことは、「沖縄はリゾート地ではなく激戦地だった」ということです。ひめゆりの塔や旧海軍司令部壕、平和の礎など沖縄戦の悲惨さを物語るものばかりでした。

研修旅行中の6月23日、「慰霊の日」に嘉数高台公園に行きました。献花する方の姿や「トーチカ」という日本軍が使用した鉄筋コンクリート製の防御陣地を見て、戦争は私が想像していた以上に恐ろしいと思いました。

他にもさまざまな場所を訪れ、バスガイドさんの話を聞くたびに命の尊さについて考えさせられる場面がありました。中でも旧海軍司令部壕が今でも頭から離れません。集団自決した際の手榴弾の跡が壁に残っていて、とても生々しかったです。私たちが簡単に見学しているこの場所で、多くの命が消えてしまったという事実を弾痕が示していましたが、信じられないという気持ちでいっぱいでした。3日間を通して、目を背けたくることが幾度もありました。今現在、当たり前のように青い海、青い空の下で当時何が起きていたのか、不謹慎かもしれませんが詳しく知りたいと興味がわく場面がたくさんありました。

そして、今回、私が沖縄コースを選んだ理由である首里城。内装・外装ともに美しく本州の城とは異なり鮮やかな朱色の塗装の城、それを取り囲むように二重の城壁、9つの門で構成されているのを見て感極まりました。

4日目はダイビングができましたが、翌日のカヌー体験とマングローブの見学はスコールの影響で中止になってしまい、沖縄は高温多湿だけでなく気候の変化が急であることも本州とは大きく異なる点だと感じました。

この研修旅行で多くの貴重な体験や見学を通して、沖縄独自の文化を学べ、とても充実した時間を過ごすことができました。



学年だより 高3

剛健旅行

3年生にとっては最後となる剛健旅行、歩き切った生徒たちの顔は充実感に満ち溢れていました。クラスの代表の方に感想を聞いてみました。

1組 鈴木 万尋

今年は高校最後の剛健旅行でした。私の今年の目標は、「昨年よりも早く歩く」ということでした。最後まで頑張っておいてみよう!と一緒に歩く友達と約束して出発しました。一緒に歩いた友達とは、部活動のことや、一年後の大学生活の話や、将来の夢など、普段の生活ではなかなかきちんと話せない話もたくさんしました。長かったけれど、とても充実した時間を過ごすことができました。「早くゴールする」という目標は達成できました。美味しい豚汁やおにぎりも食べることができました。最後の剛健の豚汁の味は格別でした。とても良い思い出になりました。

2組 大塚 美咲

今年の剛健旅行で、私たちサッカー部のマネージャー3学年4人は、30位以内を目指しました。30kmの道のりを走ると決めた時は不安な気持ちもありましたが、周りの友達や部員が応援してくれたおかげでなんとか乗り切ることができました。やはり普段から身体を鍛えている運動部の人たちは体力の差を感じるが多々ありましたが、気持ちの面では負けてはいけなそうと思いましたが、走りながら結果は無事30位以内に入ることができ、3回の剛健旅行の中で一番の思い出となりました。

3組 田爪 愛里

今年の剛健旅行は一緒に歩いた友人たちと楽しく話をしながら、完歩することを目標に歩きました。後半の坂になる頃には暗くなり疲れも来ていてつらかったのですが、励まし合いながら無事ゴールすることができました。過酷であるからこそ、友人の大切さやありがたみを身に染みて感じました。忘れることのない、良い思い出になったと思います。

4組 倉重 彰慶

今回の剛健旅行は高校3年生の僕にとって最後の剛健旅行となりました。36kmも歩き走りを繰り返すのはとてもつらいもので、途中で何度も挫折しそうになりましたが、空気もおいしく友達とも楽しく歩くことができたので、僕にとってとても良い思い出となりました。36kmも真っ暗の道を歩くという大変な行事はこれからの僕の人生の中でも味わうことはないと思うので、こういった貴重な経験ができ本当によかったです。

5組 内原 岳飛・堀口 悠介

私たちの最後の行事がまた1つ終わってしまいました。中2の時は台風で中止となり5回の剛健旅行を体験しましたが、無事に5回とも完歩できました。このことを達成するにあたって、先生方や保護者の方々の助けが大きいと感じました。歩いている間はつらい思い出でしたが、今終わってみれば楽しい思い出がたくさんあったので、ものさびしい気持ちになりました。

6組 都丸 優也

7月18日から19日にかけて、記念すべき50回目の剛健旅行が行われました。今年の剛健旅行で最も大変だったのは、先の見えない真っ暗な山道を歩いている時でした。心が折れそうになる中、結果的に完歩することができたのは、一緒に歩く仲間との励まし合いが心の支えになったからだだと思います。友情や助け合いなど、普段の学校生活では得難い大切なものを得ることができる、それが剛健旅行の意義だと、最後の剛健旅行を終えて感じました。

7組 石川 颯人

私は中等部出身なので、6回目の剛健旅行でした。中学2年生の時は台風で中止になったため、実際には5回目の剛健旅行でした。最後の剛健旅行ということもあり気合を入れてトレーニングや体力作り、身体を限界まで鍛えました。将来は剛健旅行で培った辛抱強さを強みにさまざまな困難も乗り越えて頑張ります。

8組 本島 隼太郎

今回は男子バレーボール部がゴミ拾いを担当しました。初めての体験だったので少しだけ緊張していましたが、仲間たちと協力して行ったので大変ではなかったです。また、前半のルートは通常通りに歩けたので、友達と楽しく歩くことができました。

9組 多田 聖奈

私は完歩を目標に掲げ、剛健旅行に挑みました。どんなに時間がかかっても歩き切ることに意味があると思います。毎年最後の坂が本当にきつくてみんなと半泣きになりながら頑張りました。普段より友達と話す時間が多いので友情が深まったと思います。正直、もう行きたくないけれど、3年間剛健旅行で友達と頑張った記憶は良い思い出になったと思います。

10組 秋田 陸

私は陸上部なので、毎年走っています。最も大変だったのはバラギ湖の手前の長い上り坂で、足への負担が大きく厳しかったです。ゴールした後の豚汁は疲れた体を癒してくれる美味しさでした。剛健旅行はとても過酷でしたが、36kmを通して走ることは人生でもなかなかないことなので、とても良い思い出になりました。



良い天気で歩きやすい!!



ゴールまであと少し!!

お知らせ

後援会『けやき屋食堂・バザー』

ご来場をお待ちしております!!

後援会会長 藤方 雅志 学年部部长 坂口 泰子

10月13日(土)、14日(日)両日に開催される第54回建学祭において、本年も後援会として、けやき屋食堂、バザーを出展します。

- 場所・時間 (両日とも)**
- けやき屋食堂／食堂(地下2階) 10:00～16:00
 - バザー／物理実験室(地下2階) 10:15～16:00

行事予定

October 10 月

November 11 月

- 1日(月) 後期始業式 短縮授業
- 2日(火) スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド)
- 3日(水) 塾教員対象学校説明見学会(高校)
- 4日(木) 学年集会②(高1・中1)
4時限授業(5・6時限カット)
- 5日(金) 第17回高校体育祭予備日(雨天時は授業日)
- 6日(土) 英検②1次試験(中等部:3・4時限)
- 7日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会③(高校)
- 8日(月) **体育の日**
- 9日(火) 木曜日の授業
校医相談日⑥ 学校保健委員会② 安全衛生委員会②
- 10日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 11日(木) 建学祭準備(～12日)
- 13日(土) **第54回建学祭(～14日)**
- 15日(月) 振替休日
- 16日(火) 建学祭閉祭式
短縮4時限授業(5・6時限カット)
- 17日(水) 第17回高校体育祭予備日(雨天時は授業日)
- 18日(木) 学年集会②(高3・中3) 教育実習(～11月10日)
- 21日(日) 東京私立中学・高等学校池袋進学相談会(池袋サンシャインシティ)
- 25日(木) 生徒会立会演説会(1時限 中等部:アリーナ、高校:放送)
- 27日(土) 特別時程 SSH成果報告会
- 28日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(中等部)

- 1日(木) 建学76周年記念日
- 2日(金) 創立74周年記念式典 短縮授業
- 3日(土) **文化の日**
- 4日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(高校)
英検②2次試験(中等部)
- 6日(火) 校医相談日⑦
- 7日(水) 木曜日の授業
- 9日(金) **学園高大連携総合試験(高3)**
基礎力判定試験(高1・2)
外部実力試験(中等部)
- 13日(火) スポーツ大会(高3)予備日
- 14日(水) 一斉公開授業②(～15日)
- 15日(木) **合唱祭(中等部)**
- 17日(土) **水泳実習②(中等部)**
- 21日(水) 専門医によるカウンセリング④
- 22日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 23日(金) **勤労感謝の日**
- 24日(土) 後援会委員総会③
- 27日(火) **後期中間試験(高1・2:～30日、中等部:～28日)**
卒業試験(高3:～30日)
- 29日(木) **AM:スポーツ大会・PM:キャリア教育(中等部)**
- 30日(金) **校外活動(中等部)**

編集後記

テニスの世界四大大会の一つ、全米オープン女子シングルスで大坂なおみ選手が優勝という快挙を成し遂げた。何かとスポーツ界では暗い話題が多いが、多くの感動と勇気、そして夢を与えてくれた。天然な受け答えやジョークが話題となったが、試合後の表彰式はブーイングの中、勝者が悲しみの涙を流すという何とも後味の悪いものであった。そんな状況の中でも、大坂選手の振る舞いは立派なものだった。頭をベコリと下げた姿には日本人の謙虚さを感じた。寛容な移民国家を国是とするアメリカ、皆さんはどのように感じたでしょうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>